



# Chocolat 通信

2013年 1月号

演奏会まであと半年。  
暗譜 がんばりましょう！

## K'mio talks

「まず暗譜を」

5月のプログラムも決定して、後は練習あるのみ！です。練習中で大事なことは、音取りや発音の事ではなく「合唱の場に来ている」という意識です。時々半分冗談ばく、「毎日個人の時間で練習をやっているでしょうけれど、ここで大事なことはお互いに聴き合って合唱をすることです」と言っていますが、冗談なんかではなく、これは最も大事なことです。やはり合唱をするためにはお互いに聴き合わないことには始まりません。そのために大事なことは、楽譜に意識を集中しない、ということです。つまりどれだけ暗譜できているか、が大事な要素なのでこれからはまずは「暗譜」を目指しましょう！！

(Noboru Kamio)

## 断腸の思い

「フォーレについて」

来年の演奏会に向け、フランス語・ラテン語のフォーレ合唱曲を練習中ですので、今回はフォーレについて少し書いてみたいと思います。フォーレは1845年生まれ、あの新島八重と同年の生まれです。20代の頃日本では明治維新で激動の時代、フランスでは普仏戦争によりパリ陥落そして降伏という屈辱を味わいます。音楽史的にはロマン派後で国民学派の時代、若い頃10歳年上サン＝サーンスの影響を大きく受けています。フォーレの前にはワーグナーという巨人が存在していますが、影響は受けつつも亜流に墮すこともなくビュッシーやラベルへの橋渡的な存在となりました。教育者としてはパリ国立高等音楽院院長となっています。敬虔なカトリック教徒のイメージとは裏腹に女性関係は数多くあった模様。最後にフォーレが次男に残した言葉をひとつ。私にとって芸術、とりわけ音楽とは、可能な限り人間を今ある現実から引き上げてくれるものなのだ。」

(佐々木 晋)

## 合宿風景

9月28日・29日  
合宿を行いました。懇親会も  
散策も楽しかったなあ



1周年コンサートまで  
あと182日!



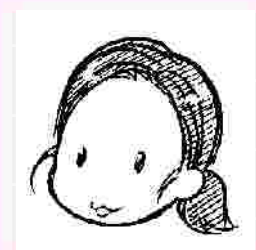
## A 染谷美由紀

私とシヨコラの出会いは8年前、ソプラノの中野さんに誘われるままに見学に行きました。本格的(?)な合唱は初めての経験、楽譜を見るのもひさしぶり、今まで使っていなかった脳細胞が活性化されたようなこち良さを感じ、即入団しました。今まで続けられたのも、神尾先生の楽しいご指導、団の居心地の良さ、歌仲間の心の支えがあるからだと思います。心配事があっても、歌って、笑って、おしゃべりをして、反省会で酒をのめば、悩みは吹っ飛んでしまいます。何度癒されたことでしょうか！退団した元団員と今でも交流があったりもします。そこもシヨコラの魅力ですね。来年は10周年、節目の年です。ラテン語・フランス語の歌にも挑戦します。すばらしい演奏会になるように、心をひとつにして、皆様がんばりましょうネ。



## A 小林有紀子

日本語の曲を歌うこと。帰宅途中に四谷中学があり通いやすいこと。なんとなく入団して早いもので、1年ちょっと経過しました。週1回、シヨコラのみなさんと練習できることに感謝しています。最近は何となく楽譜が読めるようになってきました。練習にもなんとかついていけるようになったと思っていたら。外国語の曲、特にフランス語の曖昧な発音が難しくて全くついていけない状態です。フランス語らしく聴こえるようにしたいですね。来年5月には10周年コンサートがあります。シヨコラさんの仲の良さが出せるように頑張りましょう。



## S 近藤寿美江

“せせらぎコンサート”でのお誘いを受けた頃は、退職後の文系趣味を探していた時でした。私のコーラス歴は小学5年時の合唱コンクール出場と、社会人になった20代に歌声喫茶で流行していた曲を組合のコーラスの人と歌ったくらいしかありません。

シヨコラは諸々の職種の各年代層が、週に1度心と声を合わせようとしている姿が魅力的です。そして何と言っても、ウイットにとんだジョークを伴う鋭いご指導で笑わせつつ練習を重ね、コンサートまでなんとか到達させる神尾先生のお見事な指揮手腕が魅力です。それを支える赤司先生のピアノはママになってさらに力奏していて魅力です。これらの魅力に包まれて、なんとかやってこられました。ありがとうございます。



## S 清水幸子

それは、私が介護の現場で色々と困難にぶつかり疲れ切っていた頃でした。小学校の旧友より「合唱団に入ったよ、とても楽しいよ。」「貴方には音楽があるじゃない!」という励ましの言葉を頂いたのです。私は、その言葉に背を押されるように、音大時代の友人の紹介で平成18年、荒川フィルハーモニー合唱団に入団しました。フォーレのレクイエム等色々なジャンルの曲を歌いましたが、自分の発声をどうコントロールして行ったらよいか課題でした。

ある日、私の仕事場「せせらぎ」でボランティア演奏会が行われました。何気なく聞こえるラウンジでの合唱の素晴らしい声。「大地讃頌」を豊かに歌い上げていらしたその様子に感動。2年間でたった数十分聴いただけでしたが、その合唱団、シヨコラへの入団を決意しました。

ほどなく荒フィルを退団し、シヨコラにお世話になり早5年。神尾先生、美苗先生、田辺先生の皆様の温かさに支えられながら、先日は「キララ野沢」での演奏会を実現でき、利用者様へ感動と温かい心のこもった歌を贈ることが出来ました。

10周年コンサートに向けて、25名の美しいハーモニーをいかに創り上げていくかが目標だと思っています。「音楽」は人間への愛からすべて始まると思います。音楽の素晴らしい広がりとその世界を皆様と共有し、人生の喜びを歌い伝えて行けたらと思っています。

